

同志社大学

2014年度 個人研究費研究経過・成果報告書

2015年 5月 7日提出

所 属	職 名	氏 名
社会学部	准教授	樋口純平
研 究 題 目	日本企業のグローバル人的資源管理の現状と課題	
研 究 成 果 の 概 要	<p>本研究は、日本を代表する多国籍企業の本社から地域統括会社、現地子会社にいたる組織全体を視野に置き、組織業績管理、人的資源管理の実際を正確に観察して、日本企業のグローバル化の現状と課題を明らかにするものである。具体的には、パナソニック社を主要事例として、3つの葛藤、すなわち①地域軸による管理と事業軸による管理の葛藤、②短期的収益の確保と中期的成長の展望との葛藤、③日本の雇用慣行と進出主要国・地域の雇用慣行との葛藤、の調整プロセスの中から、上記の組織構造の下で、組織業績管理、人的資源管理がいかに形成されつつあるのかを正確に認識し、解かれるべき課題群とその解決のあり方と意義を明示することがその主眼である。</p> <p>2014年度は、中国及びアジア太平洋地域で実施した現地調査の取りまとめとそれに関する文献レビューを行った。そこから、地域統括会社における域内人事ガバナンスの内容と、それを受けた各国における人事上の取り組みを明らかにすることができた。</p>	